

白川土地改良区役員説明会議録

平成27年7月17日(金) 午後 時～時 分 場所:

市側出席者: 川口参与・井上課長

天理市: 井上課長説明。

白 川: 資料4 排水は、外へ一切流れないのか。

天理市: 施設の中の汚れた水については、外に出しません。

白 川: 焼却の灰の問題で、私、奈良市のごみ焼却場の、米谷の・・・。

天理市: ここで灰を埋め立てるという事は、ありません。

白 川: 排水とかいうのは、私達は下流ですので、やはり用水へ流れ出た時に、今も奈良市と一緒に
ですので、毎年、毎年、もう何十年も、融解物とか書いているけど、私達、実際分からない。
毎年の事だけど、そういう事も心配です。

天理市: 今後、建設していくに当たっては、建設に関わる検討委員会も、当然設けていくつもりで
おりますし、水質検査等についても、各大字の方から委員会に出て頂いて、立ち会ってもら
うような組織を作っていくつもりでおります。

白 川: 基本は、これ30年、40年使う訳なので、新設したすぐというのは、シビアにこういう数字も
出来るというのは間違いない。ただ、年数が経った時に、財政事情とか、バグフィルターとか
を交換できないとか、やられると絶対、ダイオキシンとか吸着できないので、気になっている
が、一部外へ出るという心配がある。その辺含めて、例えば、滋賀県高島市のダイオキシンな
んか、数値を誤魔化してフェニックスに持ち込んでいたという話があります。人の手を加えな
いでやる、素直にきちっとした数値を見せてもらう、あるいは関係者も見せてもらうという事
がもの凄く必要かなと思っています。具体的な数字は、国の基準というのは、現在、低い数値
を各メーカーが求めて、そこまで達成できるようなシステムに進んでいまして、おそらくは、
大丈夫だろうと思います。幾らか出てくるのは間違いない。ゼロでは無いですからね。その辺、
日常的に数値をオープン化していますという話をして頂いていますから、きちつきちっと出し
てもらうという事が大事。我々としては信頼をしていく為には、必要かなと思っています。建設費、
トン当たりにしたら。

天理市: 今、370 tの施設で、トン当たり4,500万円くらいで計算しています。

白 川: 3分の1強位は、国費で貰えるだろうけど、3分の2弱位か・・・今は、2分の1かな。

天理市: それと交付税措置もありますので、実際の持ち出し分は、約4割くらいです。広域化すると、
県もそういうところには補助しようという事を、知事も仰っています。

白 川: 小さい焼却工場が沢山あると、その数を減らしていくという事も大切で、大型化すればする

ほど、果たす機能が小さな数字で落とせる、そういうメリットあるので、出来るだけそういう方向にして欲しいと思います。郡山市、今の炉・・・55億で拡張していますが、私の昔の部下が、技術の関係で、アドバイザーで入っていますけども、実は、この川西市も色々相談させてもらっていたし、枚方東の工場も、実際工事管理も全部私が、大阪の環境事業協会という所で仕事していた時に、全部やらせて貰ったという状況があります。私自身としたら、今の焼却場の建設レベルというのは、相当進んだ。昔に比べると、相当程度色んな物質を取り除ける体制は出来ていると思います。一番心配されているのは、北側の横に池があります。和爾だったか。

天理市：櫛の部分で、和爾の水利権です。

白 川：あの辺が、気になっているのと違うかなーと思いますが、雨水対策の一時貯留が、何処まで他の所へ使用して流す分か、出来るだけ軽減出来るかが、気にされているのかなと感じたりしています。川は、どの川へ流されるのか。櫛川と聞いているが。

天理市：現在、駐車場になっている水が、多分全てが櫛川ではなかったと思います。調整池が、今現在も高台から下に調整池がありますが、駐車場された時に造っていると思いますが、詳細を確認しないと、全て櫛川に流れるかどうかは確認出来ていません。今、既にある調整池の中で、どういう分配をして流しているかという部分の確認をさせて頂いて、又報告させて頂きます。

白 川：櫛川というのは、聞いた事ありますけども。

天理市：全てが櫛川かどうかは、まだ確認出来ていません。

白 川：数値では、ダイオキシン非常に低いと大丈夫だというお話ですけども、これ毎日、毎日これだけの、幾らかは出ている訳ですけども、その辺積み重なってきた分の影響はどうなるのか。

天理市：ダイオキシンにつきましては、多分皆さんもダイオキシンを体内に吸収されていると思います。普通の方が、ダイオキシンを体内に吸収されている8割から9割というのは食べ物から吸収されていて、一番出すのは焼魚からのダイオキシンが1番多いです。それ以外が、空気中や地表でのダイオキシンの摂取になります。当然、焼却炉で燃やした場合、ダイオキシンは空気中に行きます。空気中のダイオキシンの値も測りますし、法律で降った地表を測る決まりがあるのでその辺も報告させて頂くと、ただ焼却場から出るダイオキシンだけで、全て人体へ影響与えるのでは無くて、実際に、皆さんも吸っているダイオキシンの中の8から9割は、食べ物から採っている。

白 川：8、9割吸っている。それに、プラスこれだけの加算される訳ですから、そういうのは影響無いのか。

天理市：基本的にその場所だけに、ダイオキシンが発生するわけではなく、分散されていって、要するに、ここの数値も、天理市内の数値も基本的には、殆ど変わらないという理解をして頂くし、かないのかなと思います。

白 川：ここに書いてあるように、ダイオキシンの飛散状況で言うと、ふじみの状況では、工場内と、

周辺と、2kmまでの範囲、概ね・・・で、一般的な空気と同じで影響無いですよとされていると思うんですけど。発散するのは、水から流れるのが多いのかな・・・。

天理市：大気ですね。ダイオキシンは、塩素と結合して出来る科学物質ですので、焼却した時、今のクリーンセンターは850℃で燃やしていますので、ダイオキシンは一旦分解されます。その排ガスを冷やす過程でダイオキシンが発生するので、消石灰、活性炭でダイオキシンを閉じこめて、それをバグフィルターで吸着して、外に出さないようにしていますが、出る確率というのは水ではなく大気からになります。

白川：水蒸気。

天理市：水蒸気の中の、排ガスの中に少ない数ですが、ダイオキシンが出ているという事です。

白川：何対何くらい。

天理市：ちょっと難しいですけど、環境に影響及ぼさない・・・。

白川：薄いから・・・。

天理市：ダイオキシンの濃度については、ディーゼル車のトラックの方が、体に良くないという事です。煙突に顔をつけるのと違って、煙突は約60m位が普通なので、拡散していくという事で、ダイオキシンを弱くしていくという感じです。ここにあるから、即ダイオキシンを受けるという事では無いです。

白川：煙突の高さは、何m位ですか。

天理市：東京の三鷹へ行ってきましたが、煙突が100mと50mと比べても、殆ど分散する影響は変わらない。ただ、気持ち的に高くした方が良いだろうと委員会で決められた高さを採用している所もあれば50mくらいで納めている所もある。

白川：という事は、奈良市の焼却場の下、住宅ですね。だから、あそこも、窓も、灰か塵、粉塵的な物、拭き取ったら分かるわけですね。何もないと・・・。

天理市：奈良市も天理市と同じ57年の施設です。今の天理市と同じくらいに出来た施設で、新聞ではご存知だと思いますが、奈良市でも建て替えを・・・。

白川：下はどうしても、粉塵が落ちてきますね。しかしながら、奈良市の場合、焼却場が元々あったんですね。そこへ土地が安いからと言って、みんな移り住んで来た。

天理市：埃的と言うのは、クリーンセンターへ車がどんどん来ると言うのが、多いと思われれます。

白川：おそらく、そういう環境の中の浮遊物質による物かも知れないですね。

天理市：それとクリーンセンターに焼却施設を計画していますが、嘉幡にあるクリーンセンターは破砕施設というものを壊す施設を併設して、そこからの埃の方が実は多くて・・・。

白 川：今現在の嘉幡は小規模ですね。小さい方ですね。

天理市：敷地は小さいですが、焼却炉の能力としては大きいです。220 tの炉です。平成15年の市町村合併で月ヶ瀬とかが奈良市に行き、構成市町村が小さくなりました。建てた当時は月ヶ瀬、都祁も来ていましたし、昭和57年に建てた時の天理市の人口目標値というのは、非常に高かったんです。85,000人になるという目標値とか、天理教の大祭の時に、もっと来るだろうというような、一時的な人口増にも対応出来るようになっていまして220 tです。今の枠組みで、建て直すとなったら、その半分近い120 t位です。リサイクル法も進んでいまして、昔よりどんどん減って、今の半分位で出来ます。

白 川：今の新しいのは3倍以上ですね。市と町、プラス7つ位を合わせて、広域化をして、焼却するというのが、新クリーンセンターの構想ですね。それを、ずうっと負担していく訳やろ。技術は進んで、処理の能力は良くなるというものの、先程仰ったダイオキシンは積み上がっていくので。

天理市：だから、絶えず測定をしながら当然基準値を上回ったら、止めさせられるので、稼働が出来ませんから必ずその数値は守っていきますので、ご心配されている部分は分かりますけれども、そういう事が無いように、又、検討委員会みたいなものを立ち上げ、皆様に監視して頂くと言う事も考えています。市だけがやるという事ではございません。

白 川：それはそうでしょうね。難しい・・・。やはり11市町村で、一部事務組合制で、それぞれ議会の承認を得てという流れですね。

天理市：はい。そういう流れで行きたいと思っています。

白 川：そういう意味で言ったら、議員さんも含めて監視をする立場と、それが今仰った様に、地域の人達が目線で見える、そういった協議会という事が、是非必要ですね。任意団体は、あきませんのかな。一応、今日の段階では聞かせて頂いて、又、我々として水の問題とか、色々懸念されている部分については、もう少しポイントを聞かせて貰って、場合によって、こんな問題があつて基本的な考え方、いかがなものかとご提案させて頂くという事も、本日の段階では、天理市の方から説明を受けたという形で、説明会を終了させていただきます。

天理市：もし、良かったら視察の方、準備させていただきますので、ご参加頂ければと思います。

以 上